

「スギ花粉米の実用化に向けた官民連携検討会」専門チームの設置について

1. 専門チーム設置の目的

「スギ花粉米の実用化に向けた官民連携検討会」においては、スギ花粉米の実用化に向けた課題と解決策等を整理することとしている。実用化に向けては、本検討会での議論を踏まえ、剤型や臨床試験計画、原料米の安定供給体制について専門的な観点から検討を行う必要があるため、各分野の専門家を構成員とする専門チームを設置する。

2. 専門チームの設置

以下の2つの専門チームを設置する。

① 剤型・臨床試験計画検討専門チーム

適切な剤型の検討、臨床試験等の実施計画やプロトコルの策定、実施体制や予算の検討等を行う。

<委員>

国家公務員共済組合連合会東京共済病院耳鼻咽喉科部長 遠藤 朝則

東京慈恵会医科大学分子疫学研究部教授 浦島 充佳

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構生物機能利用研究部門

作物ゲノム編集研究領域長 吉田 均

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構生物機能利用研究部門

高野 誠

医薬系コンサルタント

オブザーバー 農林水産省農林水産技術会議事務局研究開発官室

※ 検討の進捗に応じて、専門家を追加。

② 原料米安定供給検討専門チーム

植物工場でのスギ花粉米の安定生産技術、遺伝子組換え作物の適切な取扱い、医薬品原料としての製造管理や品質管理基準への適応、原料米の生産コスト等の検討を行う。

<委員>

特定非営利活動法人植物工場研究会理事長 林 絵理

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構生物機能利用研究部門

医薬系コンサルタント

オブザーバー 農林水産省農林水産技術会議事務局研究開発官室

※ 検討の進捗に応じて、専門家を追加。